

2022年3月31日

株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント

代表取締役社長 鳥越 慎二

(東証第一部 コード 8769)

「アドバンテッジ健康経営支援サービス」導入 3 社が健康経営銘柄に選定

健康経営優良法人取得率は 95% 評価上昇にも貢献

～ 「健康経営銘柄 2022」の約 4 割が当社サービスを利用～

このたび株式会社アドバンテッジリスクマネジメントが提供する「健康経営支援サービス」の導入企業 3 社が、「健康経営銘柄 2022」に選定されました。さらに、「健康経営優良法人 2022(大規模法人部門)」における上位 500 社『ホワイト 500』や「健康経営優良法人 2022」の認定、および評価ランクの上昇など、各社の健康経営における価値向上に貢献しました。

■「健康経営支援サービス」導入企業(五十音順) *一部のご紹介となります。

「健康経営支援サービス」は、健康経営度調査の作成支援や、企業の取り組みにおける推進体系・プロセス評価、健康課題対策の戦略支援を行うコンサルティングサービスです。▶<https://www.armg.jp/business/kenkokeiei/>

近畿日本鉄道株式会社	戸田建設株式会社
サラヤ株式会社	豊島株式会社
鈴与シンワート株式会社	トヨタ紡織株式会社
スミセイ情報システム株式会社	株式会社日本能率協会総合研究所
ダイドードリンコ株式会社	株式会社明電舎
株式会社中部プラントサービス	株式会社夢真ビーネックスグループ

以前当社が実施したアンケートによると、健康経営に取り組んでいるものの「効果検証」に課題を感じる企業が多いことがわかっています。

「健康経営支援サービス」導入企業のご担当者からは、「調査票項目だけではなく、本質的な健康経営を見据えた提案をいただけた」というご評価もいただいております。客観的な観点とともに、伴走するパートナーへのニーズが高いものと考えています。

また当社は、「健康経営銘柄 2022」に選出された企業 50 社のうちの約 4 割にサービス(*)を提供しています。「健康経営優良法人 2022」のホワイト 500 においては 2 割超)

なお、当社も「健康経営銘柄 2022」および「健康経営優良法人 2022(大規模法人部門)」において『ホワイト 500』の認定を受けております。

当社は今後も引き続き、企業の健康経営の推進を多角的にサポートしてまいります。

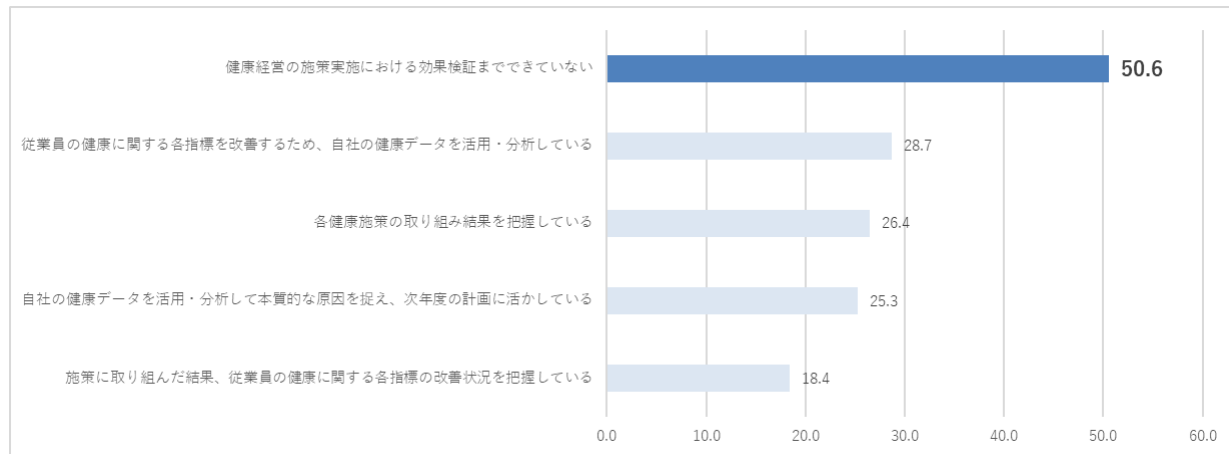
*「アドバンテッジ タフネス」/「アドバンテッジEAP」、各種研修、「産業医・保健師サービス」、適性検査「アドバンテッジ インサイト」、
「EQ ソリューション」、「GLTD(団体長期障害所得補償保険)」、休業者管理サービス「ADVANTAGE HARMONY」など

*「健康経営」は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

- 健康経営の取り組みを進めている企業・団体において半数以上が「効果検証ができていない」と回答。
- 健康経営の推進において「効果検証」を課題と捉える企業・団体も半数以上にのぼる。

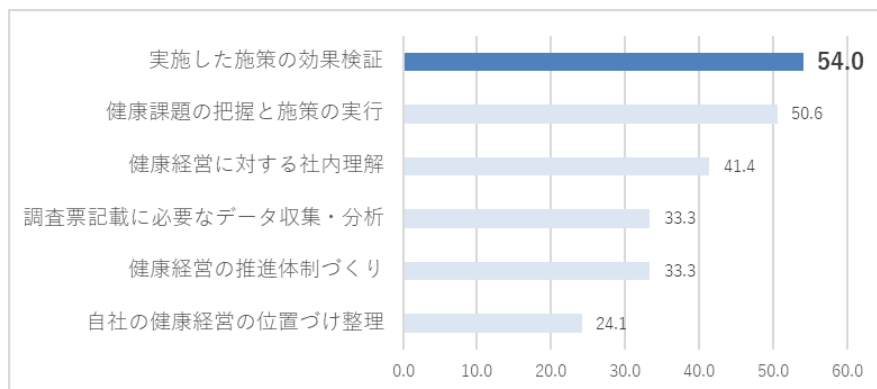
Q.【健康経営の取り組みを進めていると回答した方】

健康経営の推進に関する効果検証の実施状況について、お聞かせください。(n=87)



Q.【同】

健康経営の推進において、取り組みの課題があればお聞かせください。(n=87)



株式会社アドバンテッジリスクマネジメント(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:鳥越 慎二 <https://www.armg.jp/>)

1995年、退職者の所得を補償する保険「GLTD(団体長期障害所得補償保険)」専業代理店として創業。

2002年より、日本で初めてストレスチェックを取り入れた、予防のためのEAP(従業員支援プログラム)サービスの提供を開始し、周辺領域へと事業を拡大。2017年12月に東京証券取引所 市場第1部銘柄に指定。

現在は、EAPや研修・ソリューション、健康経営支援を軸とする「メンタリティマネジメント事業」、病気・ケガ、出産・育児、介護による休業・復職支援や仕事との両立支援を軸とする「就業障がい者支援事業」、個人向け保険販売を軸とする「リスクファイナンス事業」を展開。

従業員の「ウェルビーイング」、「ハピネス」向上を掲げ、今後は福利厚生アウトソーシングや労務管理支援、組織活性のためのツールなどへと事業拡大。各種サービスのDX化を推進し、「ウェルビーイング領域におけるNo.1プラットフォーム」をめざす。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント 広報担当:小林 pr-info@armg.jp